

2019 年度第回 6 役員会議事報告

日時 2020 年 1 月 15 日 (水) 19:00~21:00

場所) アステックむろまち

出席) 泉 大石 太田 金井 齊藤 下村 竹林 知名 西村 (睦) 西村 (智) 平山 松本 宮崎

欠席) 服田 館澤

司会) 知名 書記) 齊藤

1) 事業

報告

○2019 年度協力研修について

日時 2020 年 1 月 11 日 (土) 14:00~17:00 会場 ウイングス京都

テーマ 「福祉切り捨て」を終わらせる～必要を満たし合うための財政と福祉～

講師 高端 正幸 氏 (埼玉大学大学院准教授)

参加 26 名 (非会員 6 名、会員 20 名)

内容)

財政難の原因として語られる社会保障 (福祉) であるが、それは本当に正しいのか。本来、財政の意味や世間の捉え方など数字を挙げてわかりやすく説明をしてもらえた。

感想でも財政と福祉という切り口に興味があって参加したという意見も多かった。

予定

○2 月例会 (医療観察法学習会 企画)

テーマ 「医療観察法の再考Ⅱ～長期入院化、地域で支える仕組みづくりについて考える～」

日時 2020 年 2 月 7 日 (金) 19:00~ 場所 ハートピア京都 3 階 視聴覚室

内容 1. 医療観察法における入院処遇の実態と課題 (話題提供者 医療観察法学習会メンバーより)
2. グループワーク

定員 30 名 (京都精神保健福祉士協会 会員優先)

申込み 事前申し込み制 締め切り 2020 年 1 月 31 日 (金)

2) 対外関係

報告

○正規職員採用に関する京都市への質問状

12月9日 障害保健福祉推進室を通じて提出。

(提出者 京都精神保健福祉施設協議会・当協会) 12月25日に回答があった。

○障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会 担当 齊藤 欠席

日時 12 月 3 日 (火) 13:30~16:30 場所: 京都市多文化交流ネットワークセンター

○第 13 回京都府医療観察制度運営連絡協議会 出席 西村

日時 2019 年 12 月 19 日 会場 京都保護観察所

内容)

1) 医療観察法の施行状況について

2) 保護観察所長の申し立ての運用の在り方について

①処遇終了申し立てについて

②通院期間の延長申し立てについて

③再入院申し立てについて

当日は上記①②③の事例が保護観察所から報告され、協議された。

○こころの健康構想実現京都実行委員会

日時 2019年12月4日 会場 朱雀工房

参加 京都ユーザーネットワーク・京都精神科診療所協会・京都精神保健福祉施設協議会・当協会）・京都精神保健福祉推進家族会連合会は欠席

内容) 5団体要望活動について

京都府・京都市への要望書案について検討、完成したら懇談会日程調整予定。

○2019年度一般社団法人京都社会福祉士会 第4回理事会 (担当 齊藤 欠席)

日時: 2019年11月16日(土) 14:00~ 場所: 京都社会福祉士会 事務所

次回 2020年2月22日

○京都市 新春福祉のつどい2020 欠席回答

日時 2020年1月8日 17:30~19:30 会場 京都ホテルオークラ

○障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会

「京都府障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らしやすい社会づくり条例」活用に向けたアンケートに協力(12月27日回答済)

予定

対外関係

○障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会

共に安心して暮らせる京都デザインフォーラム

「うずもれていた地域の課題と障害当事者のとりくみ」一さまざまなバリアをこえて、共に生きる社会を目指して一

日時 2020年1月26日(日) 10:00~16:30 会場 京都テルサ セミナー室他

主催 障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会 京都府社会福祉協議会事業

○京都市障害者自立支援協議会「権利擁護部会」

日時 2020年1月31日(金) 9:30~正午 会場 職員会館かもがわにて

議題

(1) 障害を理由とする差別に関する相談対応事例について

(予定) (2) 「権利擁護」に関する課題とその解決方法について(情報支援)

3) 各部より報告等

□研修部

日時 12月5日 会場 アステッぷむろまち

内容)

- 二府四県研修の振り返り 126名参加。金銭面の清算が2月以降になる。参加者からはおおむね好評。前回までの研修会よりも良かったという声が多い。交流の時間が少なかったという意見も。2月8日(土)に二府四県の代表が集まる会議が開催予定。

- 次年度の研修部例会開催予定について1年を通して順序立てた例会を行うことが必要。研修部が例会を開催する月をあらかじめ決めておくのはいかがでしょうかという意見が。（例：4月・7月・10月・1月の年4回開催）参加者が少なかったため次回の会議にて再検討予定。

次回 2020年2月13日

□通信情報部

きょうと通信委員会

きょうと通信138号の原稿締め切りが1月21日です。

掲載予定記事はSWday（案内）、総会記念講演会（案内）、支部協力研修（報告）などを予定しております。

HP委員会

特になし

3 役会にて意見、メール配信の配信指示する役割の分担もした方がよいと（担当するとなると斉藤、下村、松本）

□権利擁護委員会

日時 2019年11月26日 会場 事務局

内容) 役員会から提案のあった「630調査を考える会(仮)」を協議し、当協会とは別建てで組織していく方針となる。当協会の有志の方を募りつつ、当協会以外の方にも声を掛けていく予定。

次回 2020年1月21日

□障害者福祉制度委員会

日時 2019年12月4日 場所 京都市朱雀工房

内容)

- 京都市、京都府への要望書作成に向けて5団体との打ち合わせを実施

雇用、保健福祉センターサービスの充実、当事者活動・家族会への支援、中丹・北部精神科医療の偏在等、様々な問題点が挙げられた。

- 年内に要望書を完成させることを目標とした。

- 年度内には懇談日を設定したい。

※12月に京都市に質問状を提出した結果、精神障害者の正規雇用に進が見られた為、要望書の記載は修正した。

□倫理について考える委員会 担当者欠席

□ソーシャルワーカー育成検討委員会

アンケートを実施する準備中

□心神喪失者等医療観察法学習会 担当者欠席

□京都府支部担当

協力研修を実施した。代議委員の公示中。

予定) 2月19日 支部運営委員会 2月23日 近畿ブロック

□災害支援検討委員会

日時 2019年12月6日 会場 なごやかサロン 参加者 3名

内容)

○他団体との連携について

同じソーシャルワーカー専門職団体として、京都社会福祉士会と京都医療ソーシャルワーカー協会と集まる場を設け、各団体の災害支援に関する活動内容、有事の際の連携づくりなどを話し合いたい。

○研修会開催について

3団体の集まり後、一緒に何か研修会を開催できればと考える。またそれとは別に、災害を意識できるような内容の研修会も同時に企画できればと考えている。

○「ブロック災害対策連絡会」11月23日(土)の報告

○日P、「2019年台風第15号19号災害対策本部」会議(第二回)報告を受けて
会員には募金と使途について報告。通信に掲載させてもらう方向で。

※通信掲載の備災コラムの休載を検討中(文書作成者が確保できない状態となってきた)

□事務局

退会審査 1名 →承認

11月13日現在 343名→1月15日現在 342名

□会計

通信と共に、11月末会費未納の方へ振込通知を送付している。

4)その他検討事項

対外関係

○後援依頼

1) 第22回日本医療マネジメント学会学術総会

日時 2020年6月26日(金)・27日(土) 会場 みやこめっせ・ロームシアター

会長 三木 恒治(済生会滋賀病院 院長)

→ 一旦保留

2) 第12回日本子ども虐待医学会学術集会 in 京都 → 承認

日時 2020年8月8日(土)～9日(日) (8月7日:プレコンgres)

会場 京都テルサ(7日のみ京都第一赤十字病院)

主催 日本子ども虐待医学会

○ソーシャルワークデイ企画について

1月9日に行った3役会では、養成カリキュラムの改定があることに絡めた話題を出来たらよいが、それを話す出来る方が検討つかない。その他の希望するテーマや話題はないか。

養成カリキュラムに関しては、講師として)2名の名前が挙がる

その他テーマとして、地球温暖化 SDGs トコロメグミ先生 グリーンソーシャルワーク、ハンセン病

→ テーマ及び講師について、開催日を3月17日前後とすることを京都社会福祉士会、京都MSW協会へ打診する。

事業・各部より

○精神保健福祉士養成カリキュラムに関するパブリックコメントについて

→パブリックコメントについては、協会として提出は締め切りも迫っておりコメントの調整が厳しい。個々で対応とする。

○京都市・府 五団体要望書について→何か意見があれば1月20日まで。

障害者雇用に関する質問状への回答も含め、京都市も精神・知的障害者を採用する方向で、チャレンジ雇用の人をそのまま採用する意向がある様子。

共同実践の報酬単価の問題。京都市は共同実践の対象が精神障害だけでなくになった。家事援助の代行と判断される共同実践は家事援助とする方向になるといっている。キャンセルが多かったりすることに加え、家事援助となることの低単価から事業所が離れる可能性がある。

○3 役会より

1月9日 3役会開催

議題：事務局の運営及び協会の収支状況について

新たに事務局を借りて運営を今年度より開始、新たな支出となっている。繰越金の利用も例年課題となっていた。年度末を迎え、会計の状況を確認した。現在の会費の金額であると次々年度以後は現状の維持は厳しくなる。その対策を検討してほしい

会費の値上げについて

現在の会費はやすいかもしれないが、研修の機会があまりない方からすると値上げに反対することは理解できる点でもある。

例会などの研修のほか要望活動等の協会活動にも会費が使われている。

元々協会は、一人にしないというところから始まった。つながることを目的とした集まりを行ってきた。

実際の協会活動・運営は、関わる方々の無給で行われている作業などがあることも伝える必要がある。
繰越金もある程度残しておく必要がある。

→協会の運営と会費について、次年度をかけてきちんと説明することが出来るような取り組みや運営を行うことを改めて確認した。

○2020 年度総会記念講演会について

日時 2020年6月7日（日）

会員への意見募集を次の役員会前までの締切 →講師等は次回の宿題とする。

その他

※前回からの継続)

○精神障害者旅客運賃割引のための要望書について→ 一旦議題から取り下げる

次回役員会

2020年2月27日

※ 各部委員会 事業報告、次年度計画・予算について準備をお願いします。

※ 倫理委員会の調整をお願いします。